

# 環境モニタリング調査の 分析実施状況確認調査について

資料 2-2

# 環境モニタリング調査の分析実施状況確認調査について

環境モニタリング調査の品質を確保し、調査結果の信頼性を高めるための取組として、環境モニタリング調査業務に係る分析作業等が適切に実施されているかを確認した。

## ➤ 調査対象

- ・ 環境モニタリング調査業務の受託分析機関及び再委託先分析機関の分析事業所

## ➤ 調査実施日

- ・ 令和6年1月22日(月)、2月15日(木)

## ➤ 調査項目

- ・ 書面確認 外部・内部精度管理及び機器点検記録等の確認  
分析事業所における取組の確認
- ・ 実地確認 測定用試料・標準物質・試薬の保管状況の確認  
分析作業実施状況等

## ➤ 講評

### (1) 受託分析機関

- ・ 昨年度の水質技能試験結果を受けて、鉛(ICP-MS)の分析手順書を改定したことを確認できた。今後も同様の取組を継続していただきたい。
- ・ 埋立処分施設のモニタリングデータは、変動を見るものから安定化を見るものに性質が変わるため、今後はこの点を踏まえて取り組んでいただきたい。
- ・ 報告のあった技能試験結果では、分析値にばらつきのあることが示唆されたことから、他の項目についても鉛で行った取組等を検討いただきたい。

### (2) 再委託先分析機関

- ・ 放射能測定技能試験(※)の結果を受けて改善した事項を内部で共有し、分析担当者が交代しても同じ対応ができるように検討いただきたい。
- ・ 放射能測定では、常に分析野帳でカウント数と測定誤差を確認し、測定精度が担保された分析となっているかを確認する習慣付けをお願いしたい。



実地確認の状況(受託分析機関)



実地確認の状況(再委託先分析機関)

※外部精度管理として、分析機関が自主的に実施した分析精度管理の取組。